

平成25年度事業報告

平成25年度は、第7次5か年計画の中間年として、その基本理念である「未来をひらく元気な測量設計業を目指して」の実現に努めるとともに、4月1日に公益社団法人に移行した初年度として、会員並びに関係者ご協力のもと公益事業を中心とした事業実施に全力で取り組み、効果的かつ着実に実施することができました。

特に、県民の測量に対する関心と業界への理解を深めるため、昨年度に引き続き「第2回ちば測協県民講座」として、「県土の強靱化」をテーマに講演会を開催したところ、約300名の参加者を得て成功裏に行うことができました。

また、当年度から新たな試みとして、小学生を対象にした測量学習会を実施したところ、教育関係者や生徒から新鮮な授業であった等の感想をいただき、幅広い取組みの必要性を認識いたしました。

ここに、平成25年度に実施した事業結果を下記のとおり報告いたします。

1. 公益事業

(1) 研修事業

① 測量計画機関向け測量技術講習会

県、市町村の測量技術等担当者を対象に、測量技術の高度な知識の習得、技術の向上を図るため、実習を兼ねた測量技術講習会を千葉県経営者会館及び千葉ポートパークを会場として（財）千葉県建設技術センターとの協力のもと2回に分け実施し、当協会として講師及び指導員を派遣した。

- ・期 日 平成25年5月24・25日及び5月27・28日
- ・受講者 80名

② 高等学校測量実習及び測量競技大会への支援

県内高等学校の生徒に対し、授業の一環として測量設計知識の普及、啓発を目的に、会員(23社)及び関係会社の協力を得て最新機器による測量実習を開催した。

[期日及び実施校等]

- ・ 5月31日 成田西陵高等学校 受講生36名
- ・ 6月28日 東総工業高等学校 受講生34名
- ・ 8月21日 安房拓心高等学校 受講生14名
- ・ 10月17日 茂原樟陽高等学校 受講生17名

また、農業系高校及び工業系高校で開催された高校測量の県大会及び全国大会においても、競技課題の設定、開催準備及び競技審査等を実施した。

[期日及び実施校等]

(県大会)

- ・ 8月 1日 成田西陵高等学校（農業系）
- ・ 11月30日 東総工業高等学校（工業系）
（全国大会）
- ・ 10月23日 成田西陵高等学校、成田市多目的グラウンド

③ 小学生向け測量学習会の開催

若い年代から、測量に興味を持つきっかけとなるよう、初の試みとして、小学校4・5年生を対象にした測量学習（歩測による地図づくり教室）を開催した。教員、生徒からは、「楽しかった」、「凄い仕事だと思った」、「新鮮な授業であった」など様々な感想をいただき好評であった。

【期日及び実施校】

- ・平成25年9月19日 九十九里町豊海小学校(46名)
- ・平成25年10月8日 九十九里町九十九里小学校(27名)

④ 総合評価制度に関する講習会

公共工事等の品質確保の促進及び技術評価に関する透明性・客観性の確保の観点から「総合評価落札方式、品質確保対策等について」を関東地方整備局の技術管理課職員を講師として、ホテルプラザ菜の花において講習会を開催した。

- ・期 日 平成25年7月5日
- ・受講者 40名

⑤ 新分野測量技術研修会

測量技術者として、高度情報化社会に対応した幅広い知識及び技術を習得するため、衛星測位と電子基準点の新活用法及び固定資産税関連業務についての研修会を、ホテルプラザ菜の花において、国土地理院専門職の岩田氏と株式会社内田洋行担当課長の細田氏を講師に招き開催した。

- ・期 日 平成25年9月4日
- ・受講者 63名

⑥ 独占禁止法遵守等研修会

測量設計業等におけるコンプライアンスの徹底を図るとともに、成果品の品質の確保や消費者の利益の擁護を図ることを目的に、5団体交流会[当協会、千葉県測量設計補償協同組合、(一社)千葉県建設コンサルタント業協会、千葉県補償コンサルタント協議会、(一社)千葉県地質調査業協会]の主催で、オークラ千葉ホテルにおいて、(財)建設業適正取引推進機構相談指導部の庄司氏及び前国交省北陸地方整備局長の橋場氏を講師に招き開催した。

- ・期 日 平成25年10月7日
- ・受講者 95名

⑦ 「第2回ちば測協県民講座」の開催

社会資本整備の基礎をなす測量設計業の重要性の理解を深めるため、「県土の強靱化とは何？」をテーマに千葉市文化センターにおいて、

千葉県県土整備部災害・建設業担当部長の金谷氏及び女優の早瀬氏を講師に招き開催した。

・期 日 平成25年11月13日

・参加者 300名

⑧ 千葉県、千葉県建設技術協会との合同による中部ブロック研修会

県土木事務所及び市町村の若手技術職員を対象に、測量業務の概要及び新技術とコスト縮減方策等を題材とした研修会を、八日市場公民館において当協会役員を講師として開催した。

・期 日 平成25年11月15日

・受講者 50名

⑨ 第30回地方県会議

全測連関東地区協議会主催による第30回地方県会議が9月20日、21日神奈川県横浜市において関東8県から代表者が参加して研修会が開催された。(参加者 小安会長他5名)

(2) 相談事業

県民からの測量に関する相談ごとに対応するため「県民無料相談所」を会員会社全てに開設し相談に応じた。(会員85社及び協会事務局)

(3) 調査研究事業

① 経営等実態調査

全測連の測量実態調査(受注状況調査、経営実態調査、給与実態調査)に協力して調査を実施し、企業経営の改善資料等に活用した。

また、協会独自で県内測量業界の受注状況の把握と要望等の資料にするため「県内測量業務等実績調査」を実施した。

② 地籍調査研究

千葉県地籍調査推進委員会(平成16年設置・当協会、千葉県土地家屋調査士会、千葉県測量設計補償協同組合、(公社)千葉県公共嘱託登記土地家屋調査士協会)に参画して事業推進の調査研究を実施した。

また、千葉県の主催で、11月19日に開催された「地籍調査講習会」においては、委員会としての積極的な後援のもと、駿河台大学法科大学院教授で弁護士の寶金敏明氏、千葉県県土整備部用地課の清宮副主幹、(一社)長生郡市地籍調査協会の石塚理事長を講師に招き、県・市町村職員及び委員会構成団体の会員等、217名が参加して、事業の推進のため熱心に聴講した。

その他、各地域における事業推進のため研修会を開催するとともに、業務効率化のための調査研究、意見交換会等の活動に積極的に参加した。

③ 関係団体への役員派遣

全測連、関東地区協議会、日本測量協会、5団体交流会等の関係団体の実施する研修会、講習会等に役員を派遣し、公益事業を展開するうえで必要な各種情報の収集に努めた。

(4) 広報事業

① 協会情報の普及啓発

測量設計業の重要性及び協会の事業活動等の情報を提供し、県民の理解、認識を深めるため、協会ホームページの充実を図った。

また、協会及び会員の情報を提供するため「協会案内」を編集、発行して県、市町村等関係機関へ配布した。

② 要望活動

測量設計業の振興と県民の公共の福祉増進のための事業提案等を図るため、7月に要望活動を実施した。また、全測連、5団体交流会、建産連等を通じての要望活動も積極的に実施した。

(5) 展示事業

① 「ちば地図展」の開催

広く県民に地図に親しみ、測量の重要性について理解して頂くとともに、業界の社会的地位の向上を目指して、第25回「ちば地図展」を水の郷さわら(香取市)で5日間次のとおり開催した。

- ・期 日 平成25年11月20日～11月24日
- ・出展内容 各種の地図の展示
航空写真による香取市街地の今昔
新旧測量機器の展示、最新の測量方法のビデオ上映
地籍調査の啓発、無料相談コーナー等
- ・来場者数 約500名

② 「利根川水系連合水防演習」への参画

測量、地図に対する県民の理解と認識を深め、測量業の振興と社会的地位の向上を図るとともに、県民の防災意識向上に貢献するため、「第62回利根川水系連合水防演習」に参画し、普及啓発を図った。

- ・期 日 平成25年5月18日
- ・会 場 香取市(利根川河川敷)
- ・参加者数 約9,000名

2. 共益事業等

(1) 関連団体との連携

① 関連団体への負担金の拠出

測量設計業並びに関連業界等における公益活動等を展開する各種団体（全測連、同関東地区協、建産連等）に対し、負担金を拠出した。

② 関連団体主催の会議等への出席

測量設計業の振興のための情報収集と連携を密にした活動を展開するため、全測連、関東地区協議会、日本測量協会、5団体交流会等各種団体の会議に積極的に参加した。

・会議出席数 44回

(2) 協会会議の開催

協会の公益目的事業を円滑に実施するため、また、運営に関する諸事項を決定するために必要な会議を開催した。

- ① 通常総会
- | | |
|-------|---|
| ・開催日 | 平成25年5月21日 |
| ・主な議題 | ①24年度事業報告及び決算
②25年度事業計画及び予算
③公益社団法人への移行に伴う「入会金及び会費規程の承認」及び「常務理事の選任」 |

② 理事会 年度内 11回

③ 委員会（部会） 年度内 必要の都度、開催した。

(3) 福利厚生事業

会員の福利厚生として、測量設計業に従事する者に対し、万一の事故等災害時に備えた保険の加入・更新・保険支払い等に係る測量業グループ保険事務の代行を行った。